

この度は吹上中学校のホームページをご覧いただきありがとうございます。

12月に入っても日中は穏やかな陽気の日も多く、冬に向かっていくこと忘れそうになるくらいです。寒くないのは助かりますが、1月にある1年生のスキー教室は影響を受けないか、冬野菜の出来が給食に影響しないかなど、心配になります。日本の良さは四季のあること。それぞれの季節の特徴はなくならないで欲しいものです。

吹上中学校では12月4日（月）～8日（金）を三者面談期間として実施しました。1，2年生はこれまでの成長とこれからの目標を本人、保護者と学校で共有しました。3年生は主に卒業後の進路選択について確認をする場となりました。平成6年度は授業参観、学級懇談会も実施しながら、家庭と学校の連携のもとで生徒たちの成長を見守っていきたいと考えています。

3年生が総合的な学習の時間を使って高齢者体験、車椅子体験を行いました。それぞれの立場を体験することで相手に寄り添った補助の仕方を学びました。また、2年生は12日（火）に「命の授業」の講演を聴いた後、赤ちゃんふれあい事業で乳幼児とのふれあい体験を行いました。「命の授業」では「愛されるために生まれてきた」という内容の講演から自分を大切にすることを学び、赤ちゃんふれあい事業では実際に触れあうことで守るべき存在や命の尊さについて考えを深めていました。このように吹上中学校では様々な体験活動を通して生徒たちの人間的成長がなされるよう取り組んでおります。

うれしいニュースも届きました。

車通勤している地域の方から「横断歩道手前で止まり歩行者を優先させたところ吹中生が毎回会釈してくれることがうれしい。車側にとっては当たり前の行為であるが、あいさつをして渡っていく吹中生に清々しさを感じる。ぜひ褒めて欲しい。」というお話をいただきました。家庭や学校で培われた力が地域の方々からも認められることは大変うれしいことです。これからも地域の力も借りながら吹中生の成長する姿を見守っていきたいです。

今後も「チーム吹中」として教職員一丸となり、生徒の可能性を伸ばし鍛える教育活動を展開してまいります。引き続き、皆様の御理解、御協力をお願い申し上げます。